【米田主宰の俳句】

あおい富士

米田規子

無音なるゴンドラ光りつつ晩夏

五線紙に音符の階段いわし雲

足りない時間ふわふわと秋の蝶

ごま油香るプルコギ夜の秋

二百十日うずたかく本積まれゆき

椿の実豪雨の中を戻り来て

水飲んで台風一過あおい富士

その先のもやもや背高泡立草

パソコンの不機嫌なる日すいっちょん

越ゆるため山は聳えて柿の秋